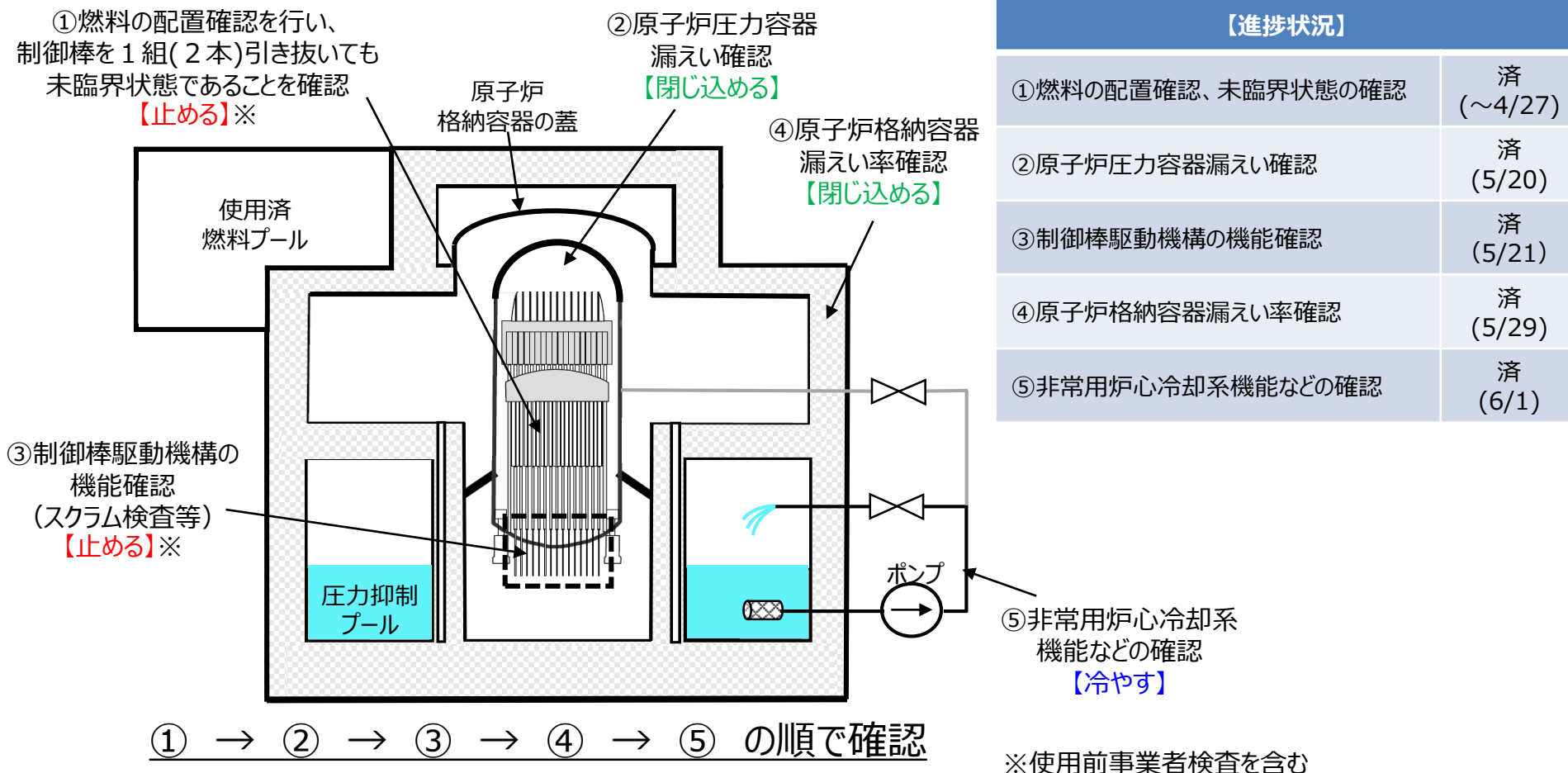


燃料装荷後の健全性確認の進捗について

- 6月12日までに主要設備を含めて、全体的な健全性確認を実施
- これにより、原子炉の起動に必要な主要設備の機能が十分に発揮できることを確認



柏崎刈羽原子力発電所の 目指す姿の取り組み状況について

TEPCO

2024年6月13日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所の目指す姿

(1) 核物質防護事案の各改善措置項目の効果が十分に発揮できていること

- ・設備面での対策はもとより、運用面での対応に注力できていること
- ・迅速かつ的確な監視体制
- ・防護直員の閉塞感の解消

(2) 安全対策工事の完遂と、主要設備の機能が十分に発揮できること

- ・安全対策工事や使用前事業者検査の完遂
- ・非常用ディーゼル発電機や長期間使用していない主要設備の健全性確認

(3) 緊急時等の対応能力が十分であること

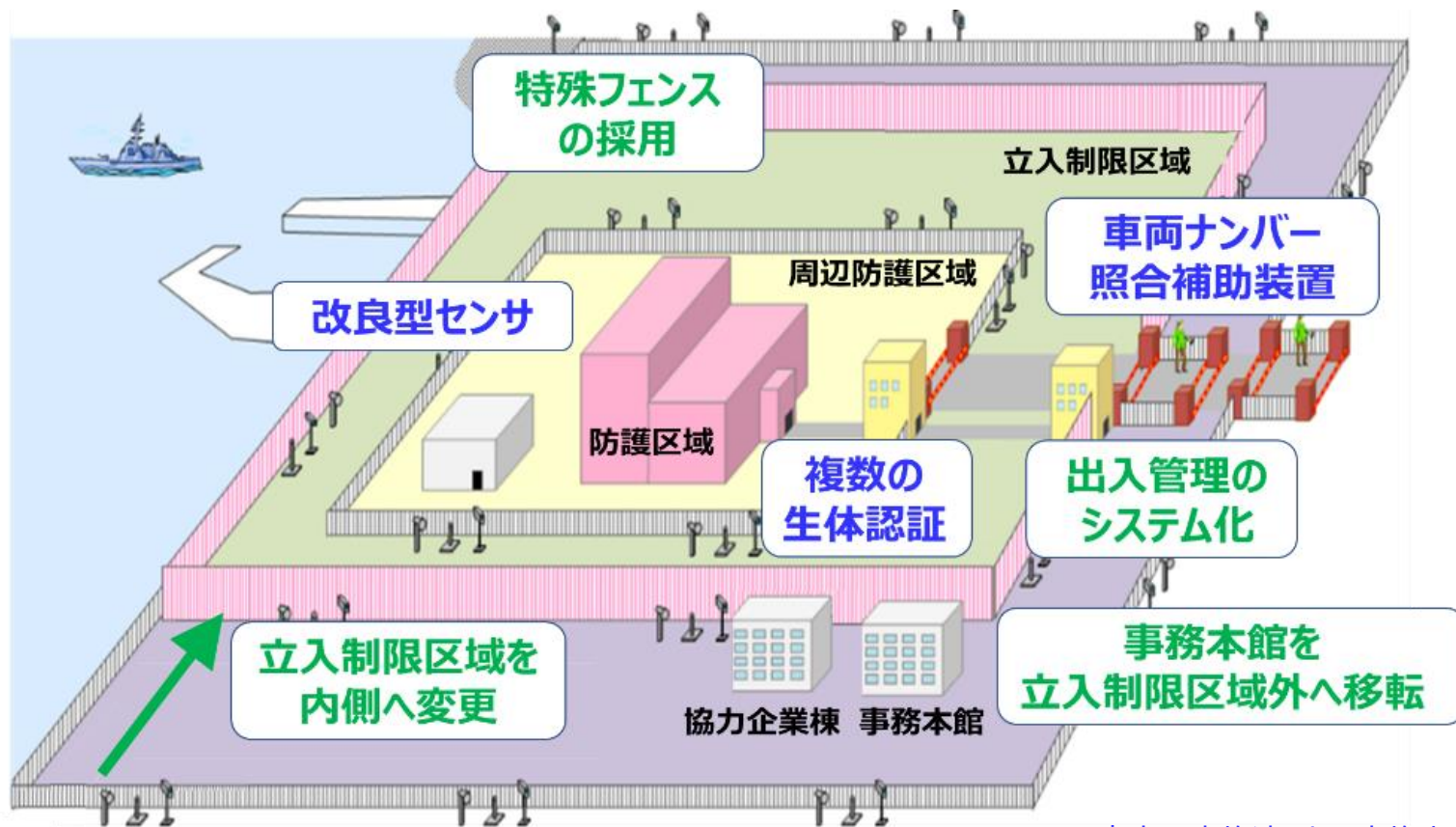
- ・過酷事故シナリオ訓練において的確な緊急時対応が継続できる状態であること
- ・運転や保全業務に関わる発電所員が自信をもって業務を遂行できること

(4) 発電所で働く全ての人々が円滑にコミュニケーションを図っていること

- ・「志」に基づく一体感醸成により経営層・所員・協力企業のコミュニケーションが活発になっている状態

(1) 核物質防護の各改善措置項目の効果が十分に発揮できていること①

- 不適切事案を踏まえた36の改善措置項目が着実に進捗し、継続的に改善
- 複数の生体認証を設置し、人だけに頼らない警備を実現。また、地域の特性に合わせた改良型センサの設置などにより、不要警報について目標を大きく下回るまでに減少
- 今後、さらなる核物質防護対策の充実化に向け、立入制限区域の見直しを進めていく



青字：実施済または実施中

緑字：2025年度末目途に実施

<参考> 立入制限区域の見直しによる効果

●現状の立入制限区域

- ① 多くの人や車両が立入制限区域内に入域 ⇒ 全ての発電所勤務者の人定確認や物品確認を行うため見張人の負担大
- ② 境界線の距離が長く、見通しが悪い ⇒ 侵入検知センサ設置数が多いことから不要警報の発生数も多く、監視者の負担が大きい

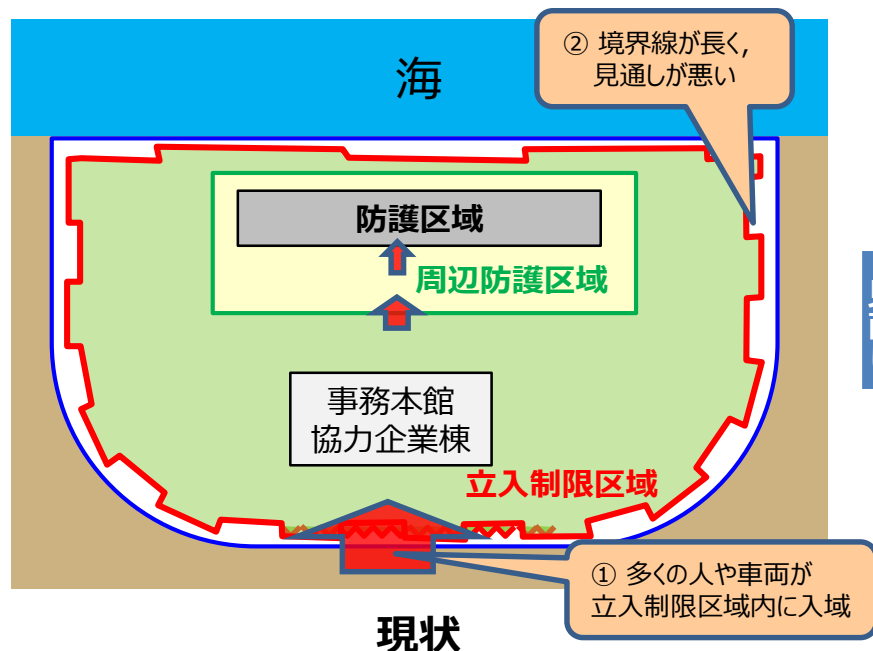
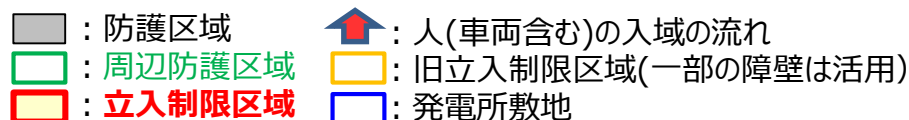
●見直し内容

立入制限区域を見直し、監視すべき対象の最適化・重点化を図ることでセキュリティ対策を強化する

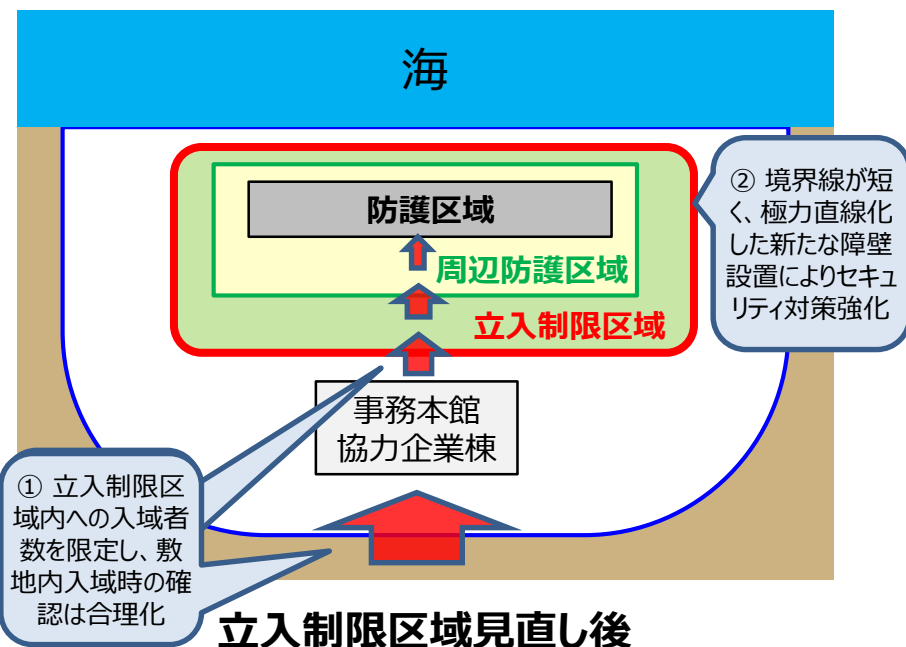
- (① 発電所勤務者の執務場所は立入制限区域外側とすることで、立入制限区域入域者数を限定する一方、敷地内入域時の確認は合理化、② 境界線が短く、極力直線化した新たな立入制限区域用の障壁設置)

●期待される効果

- ・監視の最適化、重点化によるセキュリティ対策向上
- ・不要警報削減にも寄与



見直し



※実際の境界線等の形を示したものではありません

(1) 核物質防護の各改善措置項目の効果が十分に発揮できていること②

- 運用面においても、CAP活動やモニタリング室の行動観察により、自ら弱みを改善し、一過性のものとはしない仕組みが定着
- 発電所で働く方々の大半が、核セキュリティ文化醸成の基本方針を認識し、振舞えている状況
- IAEAや第三者委員会からも、改善が継続して図られていると一定の評価



モニタリング室による行動観察

- ✓ 正門や車両検査場等における警備状況の定点観察や核物質防護に関する意識調査を実施
- ✓ 社長へ定期的に結果を報告し、発電所へフィードバック
- ✓ 気づきを踏まえ、発電所の運用や所員、協力企業の方々の振舞いを速やかに改善



IAEAによるエキスパートミッション

- ✓ 2024.3.25～4.2に実施
- ✓ 報告書では「改善措置計画のほとんどが完了し、一連の問題の根本原因に対処した」と評価
- ✓ 一方で、内部脅威の未然防止策を含めた5点について、助言有り

対象：全員
核セキュリティ文化醸成の基本方針/活動指針

- 1 自らを証明する責任**
 - 入構証、IDカード、各種許可証の掲示
 - IDカードの施錠保管
- 2 不審を見逃さない責任**
 - 相互の声掛け
 - 不審者・不審物の発見
 - 速やかな連絡
- 3 警備業務の尊重**
 - 警備員への挨拶
 - 手荷物検査・渋滞緩和への協力

TEPCO

<啓発ポスター>

(2) 安全対策工事の完遂と、主要設備の機能が十分に発揮できること①

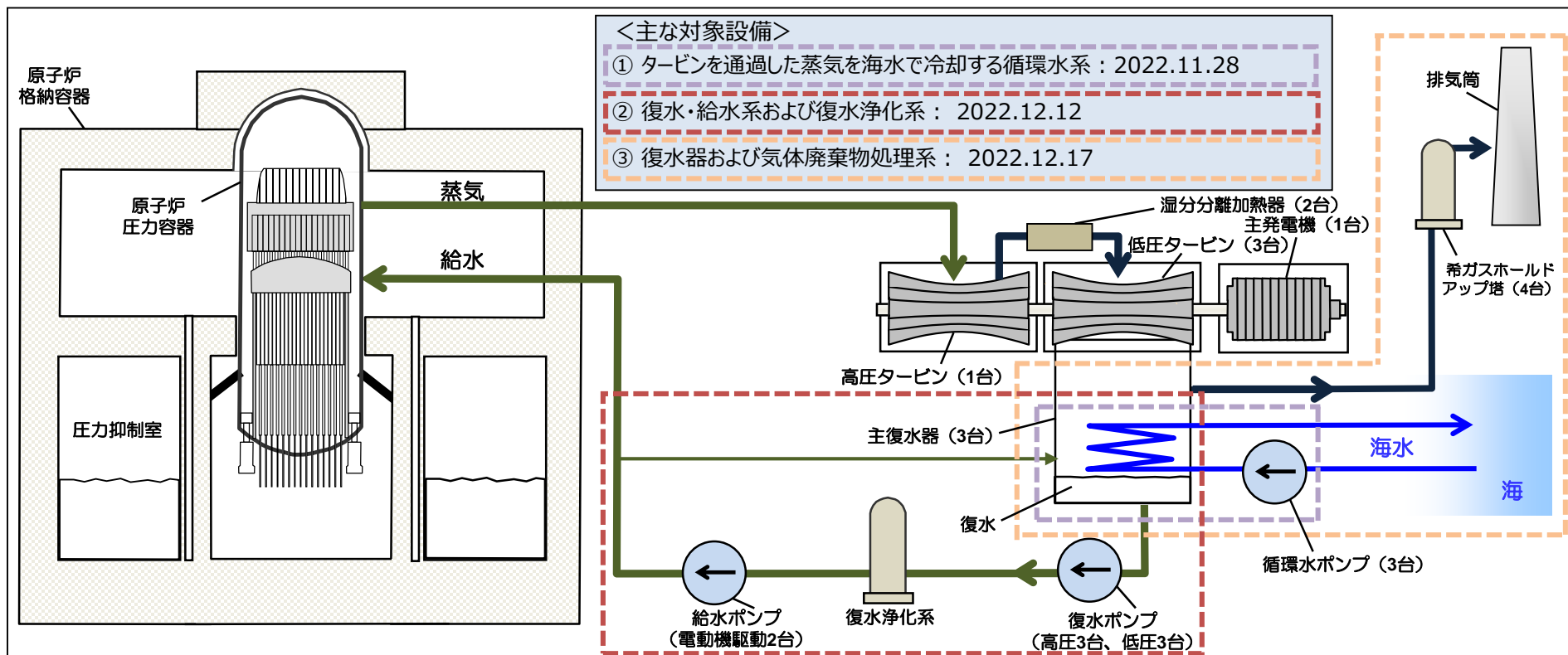
➤ 福島第一原子力発電所事故や新規規制基準を踏まえた、安全対策工事を一通り実施

主な対策	津波	防潮堤 	水密扉 	取水槽閉止板補強 	止水工事 	貯留堰 
	電源	ガスタービン発電機車 	電源車 	直流電源増設 		
	注水・除熱	高圧代替注水系 	消防車 	大容量送水車 	代替熱交換器車 	貯水池 
	影響緩和	水素処理設備 	ブローアウトパネル閉止装置 	フィルタベント・よう素フィルタ 		

(2) 安全対策工事の完遂と、主要設備の機能が十分に発揮できること②

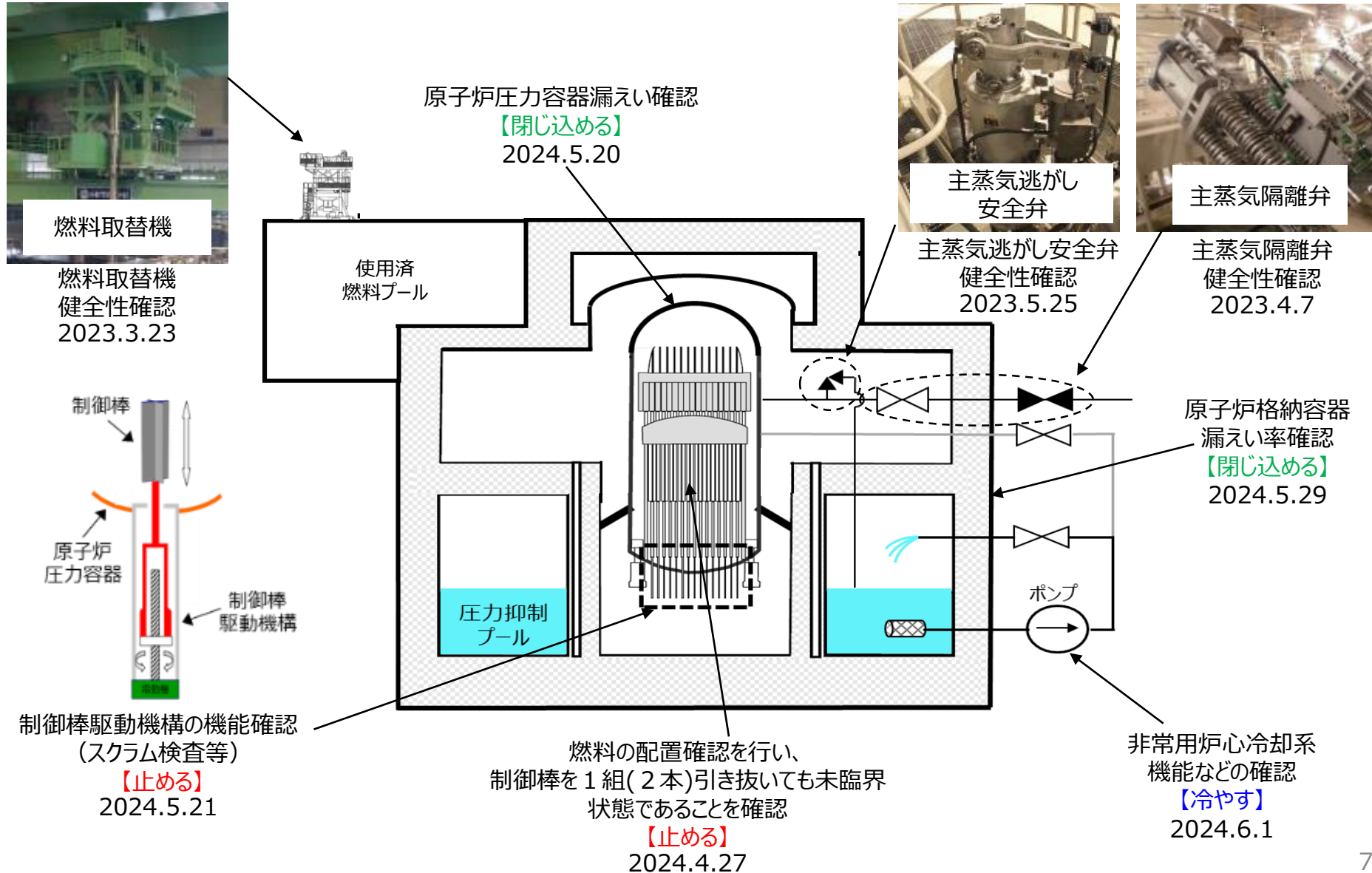
- 原子炉の起動に必要となる設備と、万が一の事故の際に必要な、「止める・冷やす・閉じこめる」ための設備が機能を発揮できることを確認
- 協力企業との現地・現物での対話・気づきの共有は、外部レビュー機関からも評価

<タービン系の健全性確認>



(2) 安全対策工事の完遂と、主要設備の機能が十分に発揮できること③

<原子炉系、燃料装荷後の健全性確認>



(3) 緊急時等の対応能力が十分であること①

- 対応者にシナリオを伝えない総合訓練や個別訓練を積み重ねる中で、福島第一原子力発電所事故時と比べ、各機能班の対応力は格段に向上
- 総合訓練では、二の矢、三の矢といった複数の戦術を準備し、的確な判断・指示、情報発信が実施出来ていることを確認
- 原子力改革監視委員会のカスター氏からは、「発電所の安全レベルは非常に高い」と評価



- ✓ 2011.3.11以降、総合訓練は170回以上実施
- ✓ 個別訓練は、がれき撤去や電源車接続等、合計30,000回以上実施
(全て所員にて対応)



- ✓ 重大事故の発生および拡大防止のために必要な措置が実施出来るかを確認するため、2024.1.30～2.1にシーケンス訓練、2.6に大規模損壊訓練を実施
- ✓ 現場対応について想定時間内に対応が完了



- ✓ 2024.5.17にカスター氏が緊急時対応訓練を視察
- ✓ カスター氏から「継続的な改善が重要で、東電は訓練を繰り返すことで、少しでも逸脱があれば修正することを心がけている」とも評価

(3) 緊急時等の対応能力が十分であること②

- 健全性確認や火力発電所等での実機体感訓練を通じて、起動、運転に関する力量を有していることを確認
- 運転員は、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、厳しいシナリオでシミュレーター訓練を積み重ね、緊急時対応能力も向上
- 原子力改革監視委員会のクライン委員長からは、「複雑なシナリオに的確に対応し、感銘を受けた」と評価



- ✓ 2023年度は年15回／人がシミュレーター訓練を実施
- ✓ 運転経験のない運転員は経験のある当直長等からの指導を受け能力を向上



- ✓ 2015年以降、火力発電所等での実機体感訓練を38回実施
- ✓ 訓練を通じて生きた設備を五感で学び経験を蓄積



- ✓ 2024.2.14にクライン委員長が運転員訓練を視察
- ✓ クライン委員長から「運転員と指揮官が訓練中、また訓練後の反省会でも積極的な議論を行っていた」とも評価

(4) 発電所で働く全ての人々が円滑にコミュニケーションを図っていること①

- あいさつ運動やブログ発信、サンクスカード、対話会、全所員向け説明会、意見投書に基づく改善活動強化等、所員間、所員と協力企業間で、様々な施策を展開したことにより、コミュニケーションは円滑になり、職場・現場でのワイガヤも増加
- 所員との対話においても、ポジティブな意見が増えており、視察にきていただいた社外の方々からも「明るい雰囲気、活気がある」と評価



あいさつ運動

- ✓ 2022.4以降、日々、あいさつ運動を正門・手荷物検査場・副防護本部で実施
- ✓ 協力企業の所長もあいさつ運動に参加し、所員と協力企業間のコミュニケーション向上に寄与
- ✓ 窓開け、入構証提示率100%



サンクスカード等の贈呈

- ✓ 褒める・褒められるの輪を広げるため、所員や協力企業の皆様の振舞いに対してサンクスカード等を所長自らが贈呈
- ✓ 所員延べ約3,600名、協力企業の皆さま延べ約1,500名に贈呈



対話会

- ✓ 所員と経営層との対話会を継続して実施
- ✓ 対話会において、出た意見や気づきは、CAP等で管理し、適宜対応

(4) 発電所で働く全ての人々が円滑にコミュニケーションを図っていること②

- 企業朝礼等に参加し、発電所の方針を直接伝え、ご意見・ご要望を伺う取組が定着
- 改善措置評価委員会からは、「発電所の雰囲気、協力企業作業員と所員の関係性が改善された」と評価



朝礼参加

- ✓ 二次・三次請も参加している協力企業の朝礼に参加し、取り組みの目的や意義等をワンボイスでお伝え
- ✓ 協力企業の皆さまから、いただいたご要望やご意見は、必要なものについてCAP等に対応



協力企業との合同検討会

- ✓ 人身災害発生時には、当該企業に加え、各元請企業の災害防止責任者と現場で議論
- ✓ 同様の災害を発生させない仕組みを協力企業とともに構築
- ✓ 現在は、ヒューマンエラー等の事案にも拡大して実施



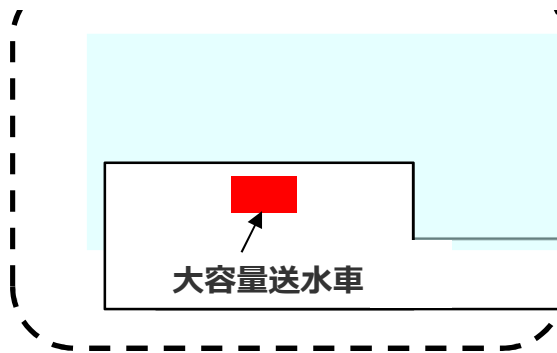
目安箱の設置

- ✓ 目安箱を設置し、タイムリーに改善内容をフィードバック
- ✓ これまで300件近いご意見やご要望をいただいております、CAP等で対応したのから掲示板等で周知

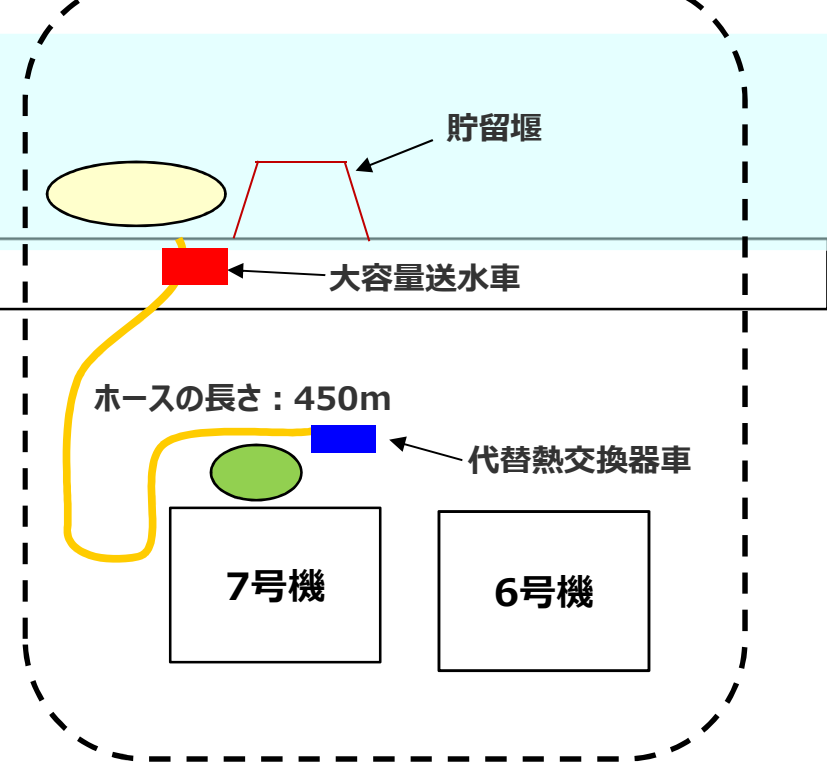
能登半島地震を踏まえた地盤隆起時の海水取水訓練

- 6月11日に想定外の地盤隆起が発生した場合の海水取水訓練を実施（原子力規制庁も確認）
- 本訓練では、450mのホースを敷設する作業や大容量送水車・代替熱交換器車へのホース接続、水中ポンプの吊上げ等を実施。また、6月1日に発電所内の物揚場にて水中ポンプを海へ吊下ろし、海水取水やホースへの通水確認作業を実施

【6月1日 通水確認作業実施場所】



【6月11日 訓練場所】



凡例

- 従来取水ポイント
- 代替取水ポイント
- ホース敷設ライン

展望台

【写真】 訓練の様子

<6月11日>

- ・大容量送水車、水中ポンプ、ホース等を代替取水ポイントまで移動
- ・代替取水ポイントでホースを展開・接続し、取水・送水準備を実施



<6月1日>

- ・物揚場にて海水取水、ホースへの通水を確認



プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年8月17日

号機

5

件名

原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年8月16日午前11時11分頃、巡視点検中の当社運転員が、地下1階の非管理区域にある高圧電源盤室において、当該電源盤室と地下2階の管理区域エリア（通路）を貫通するケーブルトレイと貫通部の隙間より、管理区域側から非管理区域側へ空気が流れていることを確認いたしました（1か所）。また、8月17日、当該電源盤室を調査した結果、空気の流れがある箇所を新たに3か所確認いたしました。

【対応状況】

ケーブルトレイ周辺、貫通部および管理区域内の空気について放射能測定を実施した結果、汚染がないことを確認いたしました。

なお、当該貫通部については、養生テープやシール材による閉止処置が完了しており、空気の流れは止まっております。

また、全号機の高圧電源盤室内の類似箇所を調査した結果、同様な空気の流れは確認されませんでした。

2022年8月23日までに当該部にシール材を充填し、補修を実施したが、手をかざすと僅かに空気の流れがあることを確認いたしました。今後、空調のエアバランス調整や定期的な漏えい確認、補修方法の検討を進めてまいります。

なお、当該エリアは二重扉の外で汚染の可能性が低い場所であり、放射能測定を実施した結果、汚染がないことを確認しています。

現在、本事案を受け、同様な箇所がないかの調査を行うべく検討を進めており、まとも次第、調査を進めてまいります。

7号機において、同様な箇所がないことを確認いたしました。1～6号機について、引き続き調査を進めてまいります。

（2023年1月12日にお知らせ済み）

1～6号機において、管理区域側から非管理区域側へ空気が流れている箇所がないか調査を行った結果、同様な箇所がないことを確認いたしました。

原因については、シール材の劣化や破損により、貫通部の隙間が生じたものと推定しました。

今後、定期的にシール材の劣化や破損状況を確認し、劣化や破損が見つかれば、適宜補修してまいります。

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2024年4月17日

号機

7

件名

制御棒1本分の駆動用モーターの電源不具合について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2024年4月17日午前7時13分頃、燃料装荷作業中の7号機において、制御棒の挿入準備のため、駆動用モーターのブレーカーを入れましたが、その後すぐに制御棒1本分のブレーカーが落ちていることを確認しました。

なお、当該の制御棒が挿入される箇所には、燃料は入っておらず、その他の燃料が装荷されている箇所には、全て制御棒が挿入されていることから、安全上の問題はありません。

【対応状況】

モーターを起動していない（負荷がない）状態でブレーカーが落ちたため、ブレーカーの負荷側に過大電流が流れた痕跡がないか調査しました。

調査の結果、負荷となるモーターは動作しておらず、周波数変換器に短絡や地絡といった異常はありませんでした。

また、ブレーカーの単体試験でも問題がないため、使用可能と判断しましたが、万全を期すため、ブレーカーと周波数変換器を予備品に取替えました。

取替え後に制御棒駆動機構の動作確認も実施し、異常がないことを確認したため、燃料装荷作業を再開いたしました。

なお、交換したブレーカーと周波数変換器は、メーカーにて詳細調査を実施します。

（2024年4月17日にお知らせ済み）

交換したブレーカーと周波数変換器について、メーカーにて分解点検や不具合の再現性確認などの詳細調査を実施し、異常が無いことを確認した。

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2024年5月10日

号機

4

件名

海水熱交換建屋（非管理区域）における海水の漏えいについて（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2024年5月10日午前10時46分頃、4号機海水熱交換器建屋地下2階において、電解鉄イオン供給装置の配管接続部からのにじみ補修作業の際に、約700Lの海水が漏えいしました。なお、外部への放射能の影響はありません。その後、同装置の運転を停止し、漏えい箇所を隔離したことにより午前11時00分に漏えいは停止しています。

【対応状況】

確認の結果、予定していた箇所とは異なる配管接続部を取り外したことにより、海水漏えいに至ったものです。今後詳細について確認してまいります。

（2024年5月10日にお知らせ済み）

③

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2024年5月23日

号機

6

件名

タービン建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2024年5月21日午後2時30分頃、6号機タービン建屋地下1階東側通路エリア（管理区域）において、6号機安全対策工事に従事していた協力企業作業員が、足場から降りた際に右足首を捻りました。5月22日、右足首の痛みが引かないことから、病院で診察を受けました。なお、本人に身体汚染はありません。

【対応状況】

病院で診察の結果、「右足関節捻挫」、「右足外側靭帯損傷」（通院加療）と診断されました。今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

（2024年5月23日にお知らせ済み）

④

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2024年5月24日

号機

7

件名

タービン建屋（管理区域）における油漏れについて（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2024年5月24日午前10時44分頃、7号機タービン建屋2階主タービンエリアにおいて、主タービンの軸受に潤滑油を供給するポンプの運転状態の確認作業中に、当社社員が当該設備の計器を収納する箱内とその下部に、潤滑油が漏えいしていることを確認しました。その後、午後0時00分に消防署へ連絡し、現場を確認していただいた結果、合計約30リットルの危険物の漏えいと判断されました。また、漏れた油に放射性物質は含まれておらず、外部への放射能の影響はありません。

【対応状況】

潤滑油の漏えいは停止しており、漏えいしている潤滑油は拭き取りを実施しております。今後、潤滑油が漏えいした原因調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。

(2024年5月24日にお知らせ済み)

⑤

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2024年5月30日

号機

6

件名

廃棄物処理建屋（管理区域）における水たまりの発見について（続報）（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2024年5月29日午後0時00分頃、協力企業社員が廃棄物処理建屋地下2階の建屋間連絡通路にて、水たまりがあることを発見しました。現場を調査した結果、水の量は約400リットル（通路幅2m×長さ20m×深さ1cm）であり、その水に放射性物質は含まれておりませんでした。当該水たまりはそのエリアにとどまっており、他のエリアへの拡がりはなく、設備への影響はありません。なお、本件は、2024年2月16日にお知らせした水たまりの発見と同一箇所での事案となります。

【対応状況】

2月の水たまりの原因については、結露水または雨水等による影響か判断材料に乏しく、まとまった雨が降った際の影響を適宜、調査してきました。今回の水たまりは、5月28日にまとまった降水があったことから、雨水浸入の可能性が高いと判断し、引き続き調査のうえ、原因の特定と再発防止策を検討してまいります。

（2024年5月30日にお知らせ済み）

⑥

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2024年6月6日

号機

4

件名

海水熱交換器建屋（非管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2024年6月5日午前11時41分頃、海水熱交換器建屋地下1階原子炉補機冷却系熱交換器エリア（非管理区域）における、熱交換器の点検資機材の搬入作業において、クレーンで資機材運搬用ネット（空荷）を吊り上げた際に、ガイドロープが協力企業作業員の右足首に絡み、当該作業員が転倒しました。その際、右ひざを床面に強打したことにより、歩行が困難となったことから救急車を要請し、病院で診察を受けました。

【対応状況】

病院で診察の結果、「右膝蓋骨骨折」、と診断されました。
今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

(2024年6月6日にお知らせ済み)

⑦

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2024年6月10日

号機

4

件名

原子炉建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2024年6月7日午後3時50分頃、原子炉建屋最上階エリア（管理区域）にて、協力企業作業員が、原子炉建屋天井クレーンの年次点検を実施し、作業終了後に、手袋を外したところ、右手の小指根元に切創（1cm程度）と出血痕を確認したため、業務車にて病院に向かい、診察を受けました。

作業の状況から、クレーンのフックと吊具を取付ける作業において、固定治具挿入時に取手と吊具の間に指を挟んだものと推定しています。

なお、放射性物質による身体汚染はありません。

【対応状況】

病院で診察の結果、「右手小指挫創」と診断されました。

今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

（2024年6月10日にお知らせ済み）

⑧

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	6	件名	中央制御室換気空調系給気エアフィルタ破損について（区分：Ⅲ）	発生日	2023年8月8日
号機	5	件名	原子炉建屋（管理区域）における水の漏えいについて（区分：Ⅲ）	発生日	2023年11月21日
号機	6	件名	廃棄物処理建屋（管理区域）における水たまりの発見について（区分：Ⅲ）	発生日	2024年2月16日

不適合情報

2024年5月9日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 10件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	中央制御室において、加湿器給水流量減少の警報が発生したことを確認した。給水ドレンが汚濁していることから給水配管の詰まりと推定。当該給水配管を点検・修理。	2024/04/01	
2	4号機	タービン建屋屋上への連絡階段裏面に腐食を確認した。当該箇所を点検・修理。	2024/04/27	
3	4号機	取水口除塵装置スクリーン洗浄ポンプストレーナードレン弁(C)弁蓋フランジからの海水漏えいを確認した。また、ストレーナードレン逆止弁のシートパスまたは弁が開状態のまま固着していることを確認した。当該弁を交換。	2024/05/04	
4	5号機	大湊側補助ボイラー建屋排水槽水位異常の警報の発生を確認した。調査の結果、排水槽ポンプ(B)出口逆止弁の着座不良と推定。排水槽ポンプ(B)を停止。当該逆止弁を点検・修理。	2024/04/30	
5	5号機	放射性廃棄物処理設備制御室において、制御用コントローラー盤制御装置故障および現場多重伝送盤異常の警報の発生を確認した。調査の結果、現場多重伝送盤電源ユニットの電解コンデンサ劣化によるものと推定。当該電源ユニットを修理。	2024/04/30	
6	6号機	タービン建屋(管理区域)の東側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/01	
7	6号機	原子炉建屋(管理区域)の南東側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/06	
8	6号機	中央制御室の防災盤に、静止型可変周波数電源装置(B)エリア送風機室の感知器異常の警報の発生を確認した。ただちに現場を確認し、炎や煙のないことを確認済み。当該感知器を交換し復旧済み。	2024/05/06	
9	6号機	タービン建屋(管理区域)の北側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/07	
10	6号機	改良型制御棒駆動機構の本体分解点検において、中空ピストン部の磁性部に異物(ホチキスの針)が吸着していることを発見した。異物を回収し点検作業を継続。また、異物は磁性部に吸着しており炉内への影響はないと判断。当該事象の原因を調査。	2024/05/07	

不適合情報

2024年5月10日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	中央制御室において、原子炉圧力容器温度記録計が停止していることを確認した。再起動操作により復旧。当該事象の原因を調査。なお、原子炉に燃料が装荷されていないため、保安規定に抵触しない。	2024/04/22	
2	5号機	原子炉再循環ポンプ高圧電源盤(A)の原子炉再循環ポンプ自動停止用遮断器(A-2)制御電源喪失検出ランプが点灯していないことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2024/04/19	

不適合情報

2024年5月13日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	コントロール建屋(管理区域)の北東側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/02	
2	1号機	コントロール建屋(管理区域)の北西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/03	
3	1号機	取水電源室のパッケージエアコンに異常を示す警報が発生し、自動停止していることを確認した。調査の結果、冷媒ガスの漏えいによるものと推定。当該エアコンを修理。	2024/05/07	
4	6号機	屋外の所内圧縮空気系循環水配管点検用マンホール近傍コネクション止め弁に、腐食および弁の固着による動作不良を確認した。当該弁を点検・修理。	2024/04/27	
5	7号機	非常用ディーゼル発電機(A)潤滑油プライミングポンプにおいて、潤滑油吸込温度がポンプ停止温度を超えても自動で停止しないことを確認した。調査の結果、潤滑油吸込温度計接点の動作不良と推定。当該温度計を点検・交換。なお、非常用ディーゼル発電機の運転に影響なし。	2024/05/07	
6	7号機	コントロール建屋1階(非管理区域)中央制御室再循環送風機室内の非放射性ストームドレン移送系配管に、微小な孔の発生および微量な水の滲みがあることを確認した。養生テープにより仮補修済み。当該配管を交換。	2024/05/08	
7	7号機	復水器(A)連続洗浄装置C1ブースターポンプの吸込圧力計指針が固着していることを確認した。当該圧力計を交換。	2024/05/09	

不適合情報

2024年5月14日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	4号機	海水熱交換器建屋地下2階(非管理区域)において、電解鉄イオン供給装置配管接続部の補修作業中に約700リットルの海水を漏えいさせたことを確認した。電解鉄イオン供給装置の運転を停止し、漏えい箇所の隔離により漏えいを停止。漏えいした海水は床面に設置されている排水樹にて処理するとともに、残水を拭き取り実施。作業予定箇所とは異なる配管接続部を取り外したことによるものと判明。当該事象の対策を検討。 【2024年5月10日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2024/20240510p.pdf	2024/05/10	G III

3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	サービス建屋(管理区域)ホットラボ排風機室前の階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/09	
2	2号機	計装用圧縮空気系空気圧縮機(B)1段ドレン弁のハンドル固定穴が摩耗して、ガタついていることを確認した。当該弁のハンドルを交換。	2024/04/09	
3	3号機	タービン建屋1階(管理区域)北東側階段室前の天井部から雨水が浸入し、水溜まり(約1.6リットル、汚染なし)があることを確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。当該箇所を点検・修理。	2024/05/09	
4	7号機	No. 3ガスタービン発電機車の点検において、燃料配管継手部に微量な油の滲みを確認した。継手部の増し締めにより漏えいを停止。当該継手部のゴムの劣化と推定。当該継手部を修理。なお、他のガスタービン発電機車による電源供給が可能なため、保安規定に抵触しない。	2024/05/09	

不適合情報

2024年5月15日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	荒浜側電動機駆動消火ポンプ吐出弁弁棒付け根部から、微量な水の漏えいを確認した。また、処置においてパッキン押さえのナットに腐食があり、増し締めできないことを確認した。当該箇所を点検・修理。	2024/04/25	
2	1号機	154kV荒浜線碍子洗浄弁点検において、洗浄弁・入口弁・配管に腐食を確認した。当該弁および配管を交換。	2024/04/27	
3	5号機	中央制御室の防災複合盤に、タービン建屋2階(管理区域)西側エリアの煙感知器異常の警報の発生を確認した。ただちに現場を確認し炎や煙のないことを確認済み。当該感知器を交換し復旧済み。	2024/04/28	
4	5号機	原子炉建屋付属棟(非管理区域)の南西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/11	
5	7号機	復水器連続洗浄装置ボール循環ポンプ(B-1)のケーシングドレンプラグから、微量な海水の漏えいを発見した。ドレンプラグに腐食を確認したことから、当該ドレンプラグを交換。	2024/05/13	

不適合情報

2024年5月16日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. GⅠグレード 0件
- 2. GⅡグレード 0件
- 3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉建屋地下3階(管理区域)の作業用電源箱分電盤の漏電遮断器が動作していることを確認した。絶縁抵抗測定を実施し問題ないことから、リセット操作を行い電源を再投入しようとしたところ、遮断器が投入できないことを確認した。当該遮断器を交換。	2024/05/10	
2	6号機	非常用ガス処理系(B)の定例試験において、電動機冷却ファンに安全対策工事の養生シートが吸い寄せられ、電動機に張り付く固縛不良を確認した。養生シートを撤去し定例試験を実施。当該養生シートの固縛状況を点検・修正。	2024/04/30	
3	その他	荒浜側焼却炉設備において焼却建屋排気筒放射線モニタサンプリング装置異常の警報が発生し、サンプルポンプ(B)が停止したことを確認した。当該放射線モニタでの監視ができなくなったことから焼却設備の運転を停止。サンプリング装置除湿器の性能低下と推定。サンプルポンプ(B)を再起動して当該放射線モニタの監視を復旧。当該事象の原因を調査し点検・修理。なお、ポンプ停止期間中の放射性気体廃棄物管理については、他の観測装置の測定データを確認し、問題なかったことを確認済み。	2024/05/12	

不適合情報

2024年5月17日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	中央制御室において、平均出力領域モニタ(E)監視画面に異常を示す警報が発生していることを確認した。調査の結果、高電圧電源装置の故障と推定。当該電源装置を点検・修理。なお、原子炉に燃料が装荷されていないため、保安規定に抵触しない。	2024/05/03	
2	4号機	原子炉建屋No. 2サブドレン(地下水汲み上げポンプ)の排水不良を確認した。調査の結果、揚水管の詰まりと推定。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2024/05/05	
3	5号機	中央制御室の防災複合盤に、原子炉建屋付属棟1階(非管理区域)非常用ディーゼル発電機(A)室の煙感知器異常の警報の発生を確認した。ただちに現場を確認し炎や煙のないことを確認済み。当該感知器を交換し復旧済み。	2024/05/07	
4	6号機	原子炉補機冷却海水系(A)点検の排水をタービン建屋海水ストームドレン移送系で処理していたところ、排水槽の水位に異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、水位検出スイッチの動作不良と推定。当該水位検出スイッチを点検・修理。	2024/05/14	

不適合情報

2024年5月20日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	7号機	使用済み燃料プール内への水中ポンプ設置作業において、燃料取替機補助ホイスワイヤーに曲がりがあることを確認した。当該ワイヤーを交換。なお、燃料取替機の機能に影響なし。	2024/04/27	
2	7号機	非常用ガス処理系原子炉一次格納容器ベント用隔離弁後弁の分解点検において、弁体シートと弁座との間に微小な隙間があることを確認した。調査の結果、開度計の全閉指示値と弁全閉状態にずれがあることを確認した。当該弁体を位置調整。なお、非常用ガス処理系の機能に影響なし。	2024/05/14	
3	その他	荒浜側補助ボイラー(5A)点検において、給水流量演算器に動作不良を確認した。当該演算器を交換。	2024/05/14	

不適合情報

2024年5月21日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	海水熱交換器建屋海水ポンプ室の排気ルーバ(B)付近から、異常振動および異音が発生していることを確認した。排風機を停止し振動が停止。当該ルーバを点検・修理。	2024/05/12	
2	6号機	静止型無停電電源装置(6A)点検の交流入力電圧計性能試験において、指示値の誤差が判定値を逸脱していることを確認した。当該電圧計を交換。	2024/05/15	
3	6号機	中央制御室において、復水ろ過脱塩装置制御盤の異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、データ記憶装置の基板故障と推定。当該基板を交換。	2024/05/16	
4	7号機	純水補給水系統への水張り作業において、原子炉冷却材浄化系再生熱交換器室前床除染用ホースコネクション止め弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	2024/05/16	
5	その他	荒浜側補助ボイラー(5A)点検において、給水圧力演算器に動作不良を確認した。当該演算器を交換。	2024/05/16	

不適合情報

2024年5月22日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。
https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	タービン建屋排風機(A)吸込み側ベーン(流量調整用ガイド羽根)リンク機構のラバーブーツに、破損を確認した。養生テープにて仮補修済み。当該ラバーブーツを交換。	2024/05/03	
2	4号機	計測設備点検において、原子炉格納容器高電導度廃液系ドレン排水槽流量計の電源スイッチを操作したところ、スイッチが破損し操作(電源投入)できなくなったことを確認した。当該スイッチを交換。	2024/03/22	
3	5号機	タービン建屋(非管理区域)東側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/19	
4	6号機	中央制御室において、低圧電源盤(6SB)地絡警報の発生を確認した。調査の結果、タービン建屋南側海水ポンプ用天井クレーンに絶縁不良が発生しているものと推定。クレーン電源を停止。当該電源回路の地絡発生箇所を特定し修理。	2024/05/08	
5	7号機	原子炉建屋(非管理区域)北側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/19	
6	7号機	中央制御室制御盤内煙感知器故障の警報の発生を確認した。ただちに現場を確認し、炎や煙の発生がないことを確認済み。調査の結果、感知器の感度低下と判断。なお、感知器の感度は低下しているものの感知機能は正常なため、保安規定に抵触しない。当該感知器を交換。	2024/05/19	
7	その他	不具合の発生している直流給電車β号車の整流器ユニット(No. 2)を、α号車の整流器ユニットと交換した。α号車の整流器ユニットは部品を調達でき次第交換。	2024/02/29	
8	その他	不具合の発生している直流給電車β号車の整流器ユニット(No. 1)を、6号車の整流器ユニットと交換した。6号車の整流器ユニットは部品を調達でき次第交換。	2024/02/29	
9	その他	原子燃料管理システムのデータベースにおいて、一部の使用済燃料(12体)の冷却日数に誤りがあることを確認した。調査の結果、中越沖地震時の燃料装荷時のデータ処理に起因しているものと推定。当該事象を規制庁およびIAEAに報告済み。当該システムのデータベースを改修し、データ修正を実施。	2024/05/08	

不適合情報

2024年5月23日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	7号機	タービン制御系のオイル循環洗浄において、制御油貯油タンクエアドライヤシリカゲル確認用窓(ガラス)が破損していることを確認した。当該窓を交換。	2024/05/08	
2	7号機	復水器連続洗浄装置系試験前の水張・試運転において、ボール回収器入口弁に海水の微小な漏えい、ボール循環ポンプのケーシングに微小な孔の発生およびジョイント部からの海水の漏えい、ベアリング摺動音の発生、ブースターポンプオイルレベルの低下を確認した。当該箇所を点検・修理。	2024/05/09	
3	7号機	中央制御室において、高圧ドレンポンプ(B)シール水ストレーナー差圧高警報の発生を確認した。調査の結果、シール水温度調節器の制御不良と推定。当該調節器を点検・修理。	2024/05/19	

不適合情報

2024年5月24(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	荒浜側消火設備圧力調整用消火ポンプ(A)の電動機分解点検において、カップリング内径が判定基準値を逸脱していることを確認した。当該カップリングを交換。	2024/05/08	
2	1号機	タービン建屋換気空調系空冷チラー制御盤に、コントローラー故障警報の発生を確認した。調査の結果、コントローラー電源の故障と推定。当該コントローラー電源を点検・修理。	2024/05/09	
3	1号機	屋外に設置している地磁気誘導電流測定装置制御盤扉の蝶番が折損し、脱落したことを確認した。扉を固縛し養生シートにて雨水浸入対策実施済み。当該扉を修理。	2024/05/20	
4	6号機	フィルタベント設備配管サポート設置のため、系統の流れ方向を図面にて確認したところ誤記を確認した。関連するラインを現場で確認したところ、3箇所弁の弁が誤った流れの向きで取付けられていたことを確認した。当該弁の取付を再施工。	2024/05/10	
5	6号機	静止型無停電電源装置(6A)点検の温度継電器動作試験において、動作不良を確認した。当該継電器を交換。	2024/05/18	
6	7号機	復水器連続洗浄装置ボール循環ポンプ(A-2)(B-2)の点検において、ベアリング摺動音に軽微な異音の発生を確認した。ベアリングの劣化によるものと推定。当該ベアリングを交換。	2024/05/09	
7	7号機	復水器連続洗浄装置ブースタポンプ(C-1)の点検において、低速回転時に軸継手部に異音の発生を確認した。軸継手内部品の摩耗およびベアリングの劣化によるものと推定。当該軸継手およびベアリングを交換。	2024/05/09	

不適合情報

2024年5月27日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	危険物施設点検において、軽油タンク(B)上部の北側ベント管引火防止網が破損していることを確認した。当該金網を交換。	2024/05/10	
2	4号機	低電導度廃液系ろ過器差圧記録計の定期点検において、記録計にセットされていた記録紙を誤って廃棄したことを確認した。当該記録については保安規定の要求はなく、設備の状態監視のための記録であるが、廃棄された期間は系統が停止していたことを確認済み。	2024/05/22	
3	5号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)東側通路照明の停電時非常用灯が点灯しないことを確認した。調査の結果、非常用灯充電ユニットの不具合と推定。当該照明灯器具を交換。	2024/05/22	
4	7号機	原子炉格納容器漏えい率検査の準備において、格納容器下部二重扉を閉してもインターロック表示灯が消灯しないことを確認した。当該事象の原因を調査し修理。なお、原子炉格納容器漏えい率検査の実施に影響なし。	2024/05/23	
5	その他	代替熱交換器車運搬用トラクタ下部に、油の滴下(約50cc)を発見し、エンジンオイル系統配管に微量な滲みがあることを確認した。吸着マットにて拭き取りおよび中和剤を散布して処理済み。受けパン設置済み。当該配管を修理。なお、構外(港湾)への流出がないことを確認済み。また、運搬用トラクタは他に9台あり、設備の運搬に影響なし。	2024/05/23	

不適合情報

2024年5月28日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機空気だめ圧力計装元弁に、シートパスを確認した。当該元弁を点検・修理。なお、当該弁は通常全開のため、非常用ディーゼル発電機の機能・運転に影響なし。	2024/05/15	
2	1号機	低起動変圧器(1SA)活線浄油機制御盤扉の蝶番が、折損していることを確認した。当該扉を修理。	2024/05/15	
3	2号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)の潤滑油給油圧力および冷媒吸込圧力に、指示不良を確認した。計器指針のずれと推定。当該計器を点検・調整。	2024/05/14	
4	2号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)の潤滑油給油圧力および冷媒吸込圧力に、指示不良を確認した。計器指針のずれと推定。当該計器を点検・調整。	2024/05/15	
5	2号機	危険物施設点検において、軽油タンク(A)北側・南側ベント管および軽油タンク(B)南側ベント管に、引火防止網の破損を確認した。当該引火防止網を交換。	2024/05/13	
6	6号機	タービン建屋地下1階(管理区域)東側通路エリアで安全対策工事に従事していた協力企業作業員が、足場から降りた際に右足首を捻りました。翌日(5月22日)右足首の痛みが引かないことから病院で診察を受けた結果、右足関節捻挫、右足外側靭帯損傷と診断された。関係者に注意喚起を行うとともに再発防止対策を徹底。 【2024年5月23日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2024/20240523p.pdf	2024/05/22	
7	その他	荒浜側補助ボイラー(5A)点検において、消音器防鳥網の腐食を確認した。当該防鳥網を交換。	2024/04/24	
8	その他	水処理設備(非管理区域)汚泥処理装置の脱水機入口軸封部に、水の漏えい(約3リットル)を確認した。漏えい水を排水槽に処理。調査の結果、汚泥ポンプ出口ライン洗浄弁のシートパスおよび脱水機軸封部の破損と推定。当該弁を点検・修理および脱水機を洗浄。	2024/05/21	
9	その他	荒浜側雑固体廃棄物焼却設備建屋(管理区域)の南側階段に、誘導灯(2箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/22	

不適合情報

2024年5月29日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1.G グレード 0件

2.G グレード 0件

3.G グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	原子炉建屋(管理区域)の北西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/27	
2	7号機	原子炉水サンプリグトランスミッタ盤において、原子炉圧力容器漏えい確認における原子炉昇圧時に、異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器入口サンプリグライン自動減圧機構の不具合と推定。当該減圧機構を点検・修理。	2024/05/20	

不適合情報

2024年5月30日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	7号機	タービン建屋2階(管理区域)主タービンエリアにおいて、主タービン軸受に潤滑油を供給するポンプの運転状態の確認作業中に、当該設備の計器を収納する箱内とその下部に潤滑油が漏れいしていることを確認した。消防署へ連絡し現場を確認していただいた結果、合計約30リットルの危険物の漏れいと判断された。当該事象の原因を調査し、再発防止対策を実施。 【2024年5月24日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2024/20240524p.pdf	2024/05/24	-
2	7号機	直流電源系機能検査の蓄電池液温の測定において、棒状温度計を蓄電池内へ落下させたことを確認した。再発防止策を検討し実施。なお、棒状温度計は回収済みで、蓄電池に影響がないことを確認済み。	2024/05/27	G III

3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	5号機	洗濯廃液系活性炭スラリー貯槽の液位指示値が、漏れがないにもかかわらず下降していることを確認した。液位計の不具合と推定。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2024/05/23	
2	7号機	原子炉補機冷却海水系ストレーナー制御盤に、連続洗浄動作警報の発生を確認した。調査の結果、複数回洗浄動作を繰り返しても差圧が改善されないことを確認。差圧計器を点検・修理。なお、当該不具合はプラント停止中のため保安規定に抵触しない。	2024/05/26	
3	7号機	電動駆動原子炉給水ポンプ(A)給水流量調節弁が、全閉信号にもかかわらず、1.5%の開状態であることを確認した。調査の結果、調節弁を制御している変換器が計器精度を逸脱していることを確認。当該変換器を交換。	2024/05/24	

不適合情報

2024年5月31日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 13件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	非常用ディーゼル発電機(B)点検にともなう空気だめ(手動)系統の空気を排出したところ、空気だめの圧力が低下したことを確認した。調査の結果、空気だめ(手動)圧力検出1次弁、2次弁のシートパスと推定。空気の漏えい箇所を特定し修理。	2024/05/17	
2	1号機	補助建屋(管理区域)の北西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/28	
3	1号機	復水移送ポンプ吐出母管圧力計器点検において、圧力計が計器精度を逸脱していることを確認した。当該圧力計を点検・修理。	2024/05/27	
4	1号機	補助建屋(管理区域)北西階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/28	
5	2号機	タービン補機冷却海水系ポンプ(B)吐出圧力計に、指針のずれを確認した。当該圧力計を点検・修理。	2024/05/27	
6	2号機	タービン建屋(管理区域)の南東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/28	
7	4号機	電解鉄イオン注入系整流器冷却ファンに、異音の発生を確認した。冷却ファンを停止。経年使用による不具合と推定。当該冷却ファンを交換。	2024/05/18	
8	5号機	中央制御室において、タービン系計装制御盤の通信箱(1)に異音の発生を確認した。調査の結果、電源系の異音と推定。当該通信箱を点検・修理。なお、制御系は2重化されているため、設備の監視・操作に影響なし。	2024/05/21	
9	6号機	中央制御室給気処理装置(B)給気フィルタ(24枚のうち10枚)に、破損を確認した。給気フィルタの全数を交換。なお、破損は小さく中央制御室の換気機能に影響なし。	2024/05/27	
10	6号機	高電導度廃液系濃縮装置加熱器出口凝縮水排出装置に、動作不良を確認した。当該排出装置を点検・修理。	2024/05/27	
11	7号機	原子炉金属採取サンプリングラックの復旧時に、逃し弁が動作したことを確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2024/05/17	
12	7号機	復水ろ過脱塩装置点検において、復水ろ過器(B)逆洗用空気入口弁スピードコントローラーに、作動用空気の漏えいを確認した。スピードコントローラーを交換。	2024/05/23	
13	7号機	原子炉内蔵型再循環ポンプハイフロー試験において、異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、再循環ポンプ(C)回転速度にスパイク状の波形が確認されたことから、何らかのノイズによる影響と推定。当該監視装置検出器のケーブルを交換。	2024/05/20	

不適合情報

2024年6月3日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン補機冷却海水系熱交換器(C)伝熱管の渦電流探傷検査において、減肉率の判定基準を超える伝熱管(7本)を確認した。当該伝熱管を閉止。なお、閉止する伝熱管は累計で14本であるが、管理値(90本)以下のため熱交換器の機能に影響なし。	2024/05/24	
2	5号機	原子炉建屋付属棟(非管理区域)南西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/25	
3	6号機	原子炉建屋地下2階(管理区域)南東側通路の中継箱上に、未使用の加熱式タバコ(2本)が入った箱を発見した。当該タバコを回収済み。当該事象および管理区域へのタバコの持ち込み禁止を周知。	2024/05/30	
4	7号機	信号入出力装置の過渡現象記録装置点検において、主タービン第5軸受軸振動値が入出力精度を逸脱していることを確認した。調査の結果、過渡現象記録装置の入力・出力基板の信号変換誤差が大きくなったものと推定。当該装置の予備入力チャンネルに接続を切り替えて運用。	2024/05/21	
5	7号機	中央制御室において、所内電源制御画面故障警報の発生を確認した。調査の結果、中央演算装置基板の温度異常を検知したことを確認。リセット操作により正常復帰し、監視・操作に影響のないことを確認。当該事象の原因を調査。	2024/05/29	

不適合情報

2024年6月5日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	中央制御室機械室の空調機給気冷却器温度調節弁電磁弁に、異音の発生を確認した。当該電磁弁を交換。	2024/05/27	
2	2号機	計装用圧縮空気系除湿装置の運転切替え(B→A)において、除湿装置(A)後部フィルタ差圧指示が通常時と相違していることを確認した。差圧計指針のずれと推定。除湿装置を(B)に切替え。当該差圧計を点検・修理。	2024/05/20	
3	2号機	タービン建屋給気風量の精度点検において、排風機(A)(B)(C)の風量が精度範囲を逸脱していることを確認した。調査の結果、風量調節ダンパーの動作不良と推定。当該ダンパーを修理。	2024/05/22	
4	2号機	タービン建屋(管理区域)南東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/05/30	
5	3号機	信号入出力装置のメッセージプリンターにエラーメッセージが発生し、プリンタ内部に紙詰まりおよび転写ベルトの欠損を確認した。対応方法を検討。なお、他のプリンタで印刷可能なため、機能に影響なし。	2024/05/28	
6	その他	固体廃棄物処理建屋電気室のエアコンに、異常を示す表示があることを確認した。調査の結果、室外機ファンの軸が破損し回転不能になったものと推定。当該室外機のファンを交換。	2024/05/27	
7	その他	水処理設備No. 1温水槽出口弁の弁棒付け根部に、微量な水の漏えいを確認した。当該出口弁を点検・修理。	2024/05/27	
8	その他	屋外放射線監視システムの積雪深データ採取において、1日値には観測日の1時間値の最高値が記録されるべきところ、記録値が一致していないことを確認した。当該事象の原因を調査し、プログラムを修正。なお、新潟県へ伝送している2分値、10分値に問題ないことを確認済み。	2024/05/30	

不適合情報

2024年6月6日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	補助ボイラー(5B)ガス絶縁閉閉装置連成計下部に、微量な油膜(約3.2cc)を確認した。調査の結果、計器に衝撃吸収のため封入されているシリコン油の漏えいと推定。吸着マットにて拭き取り済み。当該圧力計を交換。なお、構外(港湾)への流出がないことを確認済み。	2024/05/29	
2	1号機	海水熱交換器建屋地下2階(非管理区域)海水ストームドレン移送系(A)の配管に、析出物および微量な水の漏えいを確認した。受けパン設置済み。当該配管を修理。	2024/05/29	
3	1号機	海水熱交換器建屋地下1階(非管理区域)北東側エリアに、雑用水系配管から水の漏えいおよび水溜まり(約240cc)を確認した。調査の結果、配管に微少な孔の発生を確認。受けパン設置済み。止水カップリングにて応急処置済み。当該配管を交換。	2024/05/29	
4	1号機	中央制御室冷凍機(B)圧縮機の計装品点検において、吸込圧力計指示値が計器精度を逸脱していることを確認した。当該圧力計を交換。	2024/05/31	
5	その他	大湊側高台ヤードでの展張車点検において、車両下部に油の滴下(約50cc)を確認した。調査の結果、パワーステアリング油配管に微量な油滲みを確認。吸着マットにて拭き取りおよび中和剤を散布して処理済み。受けパン設置済み。当該配管を修理。なお、構外(港湾)への流出がないことを確認済み。	2024/06/03	

不適合情報

2024年6月10日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	4号機	海水熱交換器建屋地下1階(非管理区域)原子炉補機冷却系熱交換器エリアにおいて、熱交換器点検資機材の搬入作業に従事していた協力企業作業員が、クレーンで資機材運搬用ネット(空荷)を吊り上げた際にガイドロープが右足首に絡み転倒。その際、右ひざを床面に強打したことにより歩行困難となったことから、救急車を要請し病院へ搬送。診察の結果、右膝蓋骨骨折と診断された。関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止を徹底。 【2024年6月6日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2024/20240606p.pdf	2024/06/05	—

3. G III グレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	1/2号排気筒のマイクロ波無線機(無線局舍向)パラボラアンテナに、損傷(凹み)を確認した。当該アンテナを交換。なお、通信に影響のないことを確認済み。	2024/05/29	
2	1号機	原子炉建屋(管理区域)北西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/06/04	
3	2号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)北東側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/06/06	
4	3号機	燃料プール冷却浄化系ポンプの運転切り替え時、ポンプ(B)吐出流量計に指針のずれを確認した。当該流量計を点検・修理。	2024/06/03	
5	3号機	排気筒放射線モニタサンプリング装置(A)に、サンプルガス温度低の警報が発生し、ヒーターが通電状態でも温度低下が継続していることを確認した。ヒーター回路の断線と推定。サンプリング装置を(A)から(B)に切り替え。当該ヒーターを点検・修理。なお、サンプリング装置(B)での監視が可能のため、保安規定に抵触しない。	2024/06/05	
6	4号機	タービン系ソフトウェア安全処置装置(計算機)に通信エラーの警報が発生し、現場計器と通信していないことを確認した。調査の結果、通信カードの動作不良を確認。当該通信カードを修理。	2024/06/04	
7	6号機	非常用ガス処理系(A)排風機出口配管に、防火対策工事の仮設足場養生板が干渉していることを確認した。干渉部分の仮設足場を撤去・復旧済み。	2024/05/28	
8	7号機	非常用ディーゼル発電機、非常用炉心冷却系機能検査記録の社内審査において、弃動作検査成績書(2枚)がなくなっていることを確認した。調査の結果、成績書を電子データ化した際に他の資料に混入し誤って廃棄されたものと推定。当該機能検査を再実施。	2024/06/05	

不適合情報

2024年6月11日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	圧力調整用消火ポンプ(A)点検の水抜きにおいて、吸込弁に微量なシートパスを確認した。当該吸込弁を点検・修理。	2024/05/28	
2	1号機	原子炉建屋天井クレーン点検において、補巻ウインチインバータ故障警報の発生を確認した。当該事象の原因を調査し修理。なお、主巻ウインチおよび10トンホイストの動作に問題はなく、クレーンの使用に影響なし。	2024/05/28	
3	1号機	南側66kV補助建屋継電器室用パッケージエアコン室外機の筐体下部に、腐食を確認した。当該室外機を交換。	2024/06/06	
4	3号機	低起動変圧器(3SB)類焼防止設備の点検において、噴霧ノズルの詰まり(28箇所のうち3箇所)を確認した。当該ノズルを修理。なお、他のノズルは健全で消火機能に影響なし。	2024/05/30	
5	5号機	タービン建屋地下2階(非管理区域)常用電気品室の照明に、点灯不良を確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2024/06/03	
6	7号機	原子炉再循環流量制御装置検査において、原子炉内蔵型再循環ポンプ静止型可変周波数電源装置故障の警報の発生を確認した。調査の結果、制御装置中央演算処理装置-1の異常と推定。当該事象の原因を調査し修理。なお、制御系は2重化されており、機器の制御に影響なし。	2024/06/07	
7	その他	荒浜側焼却炉建屋(管理区域)排気筒室内天井の排気筒貫通部から、雨水の浸入および室内に水溜まり(約320cc汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。当該箇所を点検・修理。	2024/06/02	
8	その他	荒浜側焼却設備1次セラミックフィルタ(A)(B)を逆洗しても、差圧に変化がないことを確認した。当該差圧計を点検およびフィルタエレメントを交換。	2024/06/04	

核物質防護に関する不適合情報

2024年5月21日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックをご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の扉の付属機器が、正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、当該機器の別作業において、誤った配線で施工したことを確認したため、配線を修正し、正常な状態に復旧した。 誤った配線で施工された原因は、手順書の記載の不備であったことから、手順書の記載を修正した。	2024/2/1	

- 4. 公表区分その他 3件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の障壁に錆を確認したことから、当該箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、障壁機能は維持できていたこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2023/3/27	
2	当社社員より、入構証を紛失したとの連絡があったことから、当該入構証の無効化措置を実施した。 また、関係者に対し、入構証の取り扱いルールについて再教育を行った。 なお、後日、当該入構証は発見され、不正使用された形跡も確認されなかった。	2023/9/14	
3	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/4/25	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2024年5月28日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の点検用照明が、正常に点灯しなくなってから復旧するまでに時間を要したことを確認した。 復旧に時間を要した原因は、修理依頼箇所と修理実施箇所の担当者間の連携不足によるもの。 対策として、別部署へ修理依頼する際は担当者だけでなく、上位職にもあわせて連絡することで連携を強化することとした。	2023/7/19	

4. 公表区分その他 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の扉における付属機器が、一部正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該機器を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉の出入りを一部制限した。	2024/4/16	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2024年6月4日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 3件

NO.	不適合事象	発見日	備 考
1	監視カメラの映像が、一部乱れることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該カメラを交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2023/11/26	
2	協力企業より、1名分の入構証を紛失したとの連絡があったことから、当該入構証の無効化措置を実施した。 また、関係者に対し、入構証の取り扱いルールについて再教育を行った。 なお、当該入構証の不正使用は確認されていない。	2024/3/14	
3	侵入検知器が正常に動作しなくなり、その後自然復旧したことを確認した。 検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該侵入検知器を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/4/16	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2024年6月11日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。
https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視カメラの映像が、一部乱れることを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、当該カメラの付属機器取替作業において、誤った配線で施工したことを確認したため、配線を修正し、正常な状態に復旧した。 誤った配線で施工された原因は、付属機器取替に伴う仕様の確認不足であったことから、仕様確認の徹底を関係者へ周知した。	2024/3/28	

4. 公表区分その他 10件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視カメラの映像が、映らないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2022/8/22	
2	監視カメラの一部機能が正常に動作しなくなり、その後短時間で自然復旧したことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面に異常は確認できなかったことから、一過性の不具合と判断した。	2023/6/8	
3		2023/6/17	
4		2023/6/17	
5		2023/6/18	
6		監視モニタの映像が、映らないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、バックアップ用のモニタであったことから、代替措置は不要と判断した。	2023/10/19
7	侵入検知器の一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/3/13	
8	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作を繰り返すことを確認した。 検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/3/18	
9	核物質防護上の扉における付属機器が、一部正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該機器を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉の出入りを一部制限した。	2024/5/14	
10	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/5/30	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。